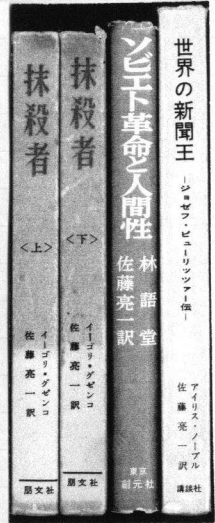
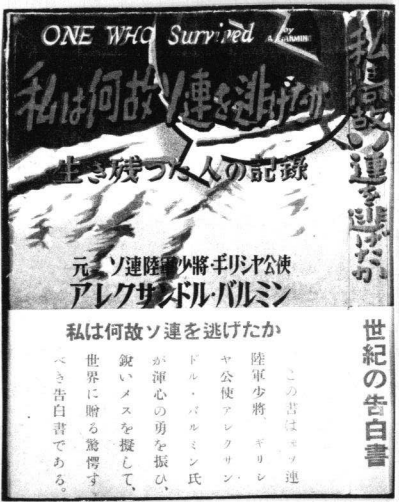


佐藤亮一 さとう りょういち 繙譯家。明治四十二年十月十八日青森縣生れ、正成  
 六年十月一日歿（一九〇八—九四）。昭和七年慶應義塾大學卒。時事新報社  
 ・毎日新聞社各記者、北支開發會社宣傳部次長等を歴く、戦後共立女  
 子大學教授。日本繙譯家協會事務局長、のち副會長。六十二年國際繙  
 譯賞受賞。

譯書、C・D・オン著 『武士道は泣く―日本再建を祈願する―』外人の  
 『』(昭和二十四年二月十五日新休  
 社)、アレクサンドル・バルミン著  
 『私は何故ソ連を逃がたか―生き残り  
 八人の記録』(昭和二十四年十一月二  
 十日道流書院)、林語堂作 『朱朱りの  
 門』全二冊(上巻・昭和二十九年八月  
 八日、下巻・二十日新潮社)、イーゴリ・グゼンユ作 『抹殺者』(この  
 地上には人間より尊いものはない)全二冊(上、下・昭和二十二年六  
 月二十日朋文社)、C・A・リンドバーグ著 『翼よあれがパリの灯だ  
 ー大西洋横断飛行の回想』(昭和二十年十一月二十五日出版協同社)、  
 林語堂作 『杜十娘』トシキウの娘(昭和二十一年二月二十日朋文社)、プランタン叢  
 書』、フオークナー他作 『現代アメリカ短篇集』(昭和二十一年五  
 月二十日荒地出版社)、イーゴリ・グゼンユ作 『ゴゴリーキイの最  
 期』(昭和二十一年六月五日朋文社)、ウオルター・ロード作 『大西  
 洋の悲劇―タイタニック号の謎』(昭  
 和二十一年七月二十日大日本雄弁  
 公会談社)、ミリオソ・ブックス』、



オーエン・ウイスター作『グアーツニアン』(昭和二十二年一月十五日出版協同社「ゴールド・ブックス」)、ツイリス・ノーブル著『世界の新聞エージヨゼフ・ビュリーツツター伝』(昭和二十二年八月二十日大日本雄弁会講談社)、ヨセフ・カリニコソフ作『大いなる河』(石川信夫共訳、昭和二十四年五月十日角川書店)、林語堂著『ソビエト革命と人間性』(昭和二十四年十二月二十日東京創元社)、ベネット・サーフ編『笑う英語』(訳注、昭和二十五年十二月八日文建書房)、C・H・ロルフ編『チャタレー夫人の裁判』(昭和二十六年十二月十日河出書房新社)、ジョン・フォークナー著『怒りと響き』の作家ーナオーケナー伝』(昭和二十九年四月十五日荒地出版社)、ジャック・マツチャ著『勇性のためのヨーロッパ案内』(昭和四十一年九月二十日荒地出版社)、フランク・ギブニー編『ペンコフスキー機密文書』(昭和四十一年十一月十五日集英社)、林語堂作『西域の反乱』(昭和四十八年八月二十七日芙蓉書房)等。

著書『北支戦線裏状なし』(昭和十七年二月五日大新社)、『北政・ナイヨルド紀行』(昭和二十四年九月十日角川書店)、『北京収容所』(昭和二十八年十一月二十日河出書房新社「河出ペーパーブックス」)、『翻訳騒動記』(昭和六十一年二月一日政界往來社)等。



翻訳騒動記

北京収容所

佐藤亮一

河出ペーパーボックス

河出ペーパーボックス 280